



From
the People of Japan

ヌアクショット、2021年11月29日

プレスリリース

平成30年度「水産物衛生検査公社（ONISPA）ヌアディブ検査・分析所建設計画」起工式プレスリリース

2021年11月29日、モーリタニア北部ヌアディブにおいて、日本政府の支援である平成30年度「水産物衛生検査公社（ONISPA）ヌアディブ検査・分析所建設計画」の起工式が実施されました。

起工式では、ゼイン漁業・海洋経済大臣と江原功雄特命全権大使が建設予定地に石碑を設置しました。また、ヴァル・ヌアディブ州知事やダルティージュONISPA総裁、シディ・モハメド・ヌアディブ経済特区総裁等も同席しました。

今回の支援は、2019年2月27日に署名された14.25億円（約5億ウギア、約12.5百万米ドル）の無償資金協力の枠組みで、モーリタニアの漁業分野の一大拠点であるヌアディブにおいて、国内の水産物の衛生検査機能の強化、ひいてはモーリタニアの水産物の輸出促進を図るため、検査・分析所を建設し、機材を供与するものです。去る27日に、日本の請負業者と漁業省との業務契約が署名され、今後、工事が本格化していくことが期待されます。

日本のモーリタニアに対する漁業分野における支援は、両国の友好関係のシンボルであり、日本は1970年代から、ヌアディブの港湾やヌアクショットの魚市場等の建設など、多くの協力を実施しました。こうした支援の結果、モーリタニアの漁業セクターは外貨収入の3割を占める主要産業にまで成長しました。

今回の計画により生まれ変わるヌアディブONISPAは、日本が2004年に支援したヌアクショットONISPAのように、安全でより品質の高い水産物の輸出を促進すると同時に、コロナ禍で疲弊したモーリタニア経済を救うポスト・コロナ時代の成長を促すことが期待されます。日本政府は今後ともこの歴史的な協力を長きにわたって継続します。

日本はモーリタニアに対して、1977年以降今日に至るまで、総額6億米ドル相当の無償資金協力を実施しています。



From
the People of Japan

